

平成19年度 宮崎こども文化センターの管理運営に対する評価について

1 指定管理者

| | |
|-----------|--|
| (1) 指定管理者 | 財団法人かわさき市民活動センター |
| (2) 指定期間 | 平成18年4月1日～平成23年3月31日 |
| (3) 業務の範囲 | 宮崎こども文化センターの管理運営に関すること 宮崎小学校・宮崎台小学校わくわくプラザの管理運営に関すること |

2 管理運営（事業執行）に対する評価

| 評価項目 | 平成19年度管理運営の状況 | 評価及び指導 |
|--------------------------|---|--|
| (1) 管理業務の実施状況 | | |
| 施設の運営に関する職員体制に関すること | ①人的能力の充実を図るため職員の児童厚生員資格取得を進めると共に、新規採用職員は業務に関する資格取得者から選考しました。②本部の職員体制については管理係長1名、区運営担当主査を3名配置して各館との連携強化を図りました。 | 職員の業務に関する資格の取得を進めたこと、また本部職員の充実によりかわさき市民活動センターが管理運営している他のこども文化センターとの連携を図ったことは評価できる。職員の研修については、スケールメリットを生かし、大規模な研修を実施し、また、指定管理施設の各区、施設単位での研修も実施することにより職員のスキルアップを図っていたことは評価できる。今後もこども文化センター及びわくわくプラザの職員配置が適切に行われるよう努めること。 |
| 施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること | 意見箱の設置で、利用児童や保護者、地域・利用団体の方々から感想や意見を頂きました。運営協議会にて、地域から見た要望や利用しやすい環境作りを検討しています。（今年度は、コピー機の利用について整備しました。）日々の利用者や行事参加の児童・保護者から帰り際に、感想や意見を頂き、ニーズに沿った対応を心がけました。 | 継続的に利用者や地域住民からの意見・要望等を聞きニーズの把握に努めていたことは評価できる。意見箱の活用等により積極的にニーズの把握に努めていたことは評価できる。 |
| サービスの提供に関すること | 貸室利用に付随する物品の貸し出しや提供の声かけ、給湯室の利用案内、幼児ルームの常時開設、近隣小学校へのお便り配布、ぬり絵用紙の提供や図書の貸し出し、遊具の公園貸し出し、地域行事のための臨機応変な対応、卓球台や一輪車など遊具の整備と貸し出し及び無料行事を実施しました。 | 運営協議会やこども会議等を実施しサービスの提供を行っていた。また、ホームページの内容をより充実させていたことは評価できる。障害児については、障害児相談員を雇用し、必要に応じ職員の相談を行い障害児の対応を充実させていたことは評価できる。また、2つのクラブ活動を実施し、事業の充実に努めていた。音楽室の利用についても広報等を行い利用促進に努めていた。 |

| | | |
|-------------------|---|---|
| 事業の実施に関する こと | 近隣4館合同の野外活動の実施（研修4回・ミニ行事4回・青少年の家にてデーキャンプ実施1回）、運営協議会共催事業の開催（さんま祭り・センター祭り・大掃除の集い）、幼児向け事業の実施（工作・水遊び・シネマ）、館内季節行事、月行事、わくわくプラザ合同行事及び区行事事業の実施をしました。 | 運営協議会等との連携により地域のニーズに合った行事を実施したことは評価できる。また、引き続き音楽室を活用した行事等も積極的に検討すること。今後も、ボランティアの活用を努めること。 |
| 個人情報取扱に関する こと | 利用者へは「財団法人かわさき市民活動センター個人情報保護方針」の掲示、職員・スタッフへは「財団法人かわさき市民活動センター個人情報保護マニュアル」の読み合せにより、取り扱いには十分注意して行っています。館内研修として、個人情報を守る実践対策研修を次年度は予定しています。 | 個人情報の取扱については、概ね問題なく処理されている。 |
| 施設の安全管理に関する こと | 始業前の施設点検、遊具の点検を実施し、危険箇所への立ち入りや注意喚起の張り紙を行い、利用者への声がけとともに安全に利用して頂きました。特に卓球台や机の出し入れは職員・スタッフが行いました。今年度は不審者対応研修の実施に至りませんでした。次年度は早期に計画・実施する予定です。衛生面については研修を、全職員に実施し、衛生マニュアルと共に除菌用具などを揃えて使用し、意識を高めました。 | 毎日の清掃や始業時の点検を行い、安全性に努めている。また、宮崎小学校・宮崎台小学校わくわくプラザにセンサーライトを設置し、より安全性を高めていたことは評価できる。 |
| (2) 利用状況 | | |
| ①こども文化センター | 延べ利用者数 32,916人 延べ団体利用数 4,405団体 （主な行事等） プラバン工作 センター祭り （特色のある行事） さんままつり | 地域の状況に合わせた特色ある行事の実施している。また、地域との連携を図り行事を実施していることは評価できる。行事の実施に当たっては、具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。 |
| ②わくわくプラザ | 1 宮崎小学校わくわくプラザ 登録者数 446人 延べ利用者数 17,930人 （主な行事等） 映画会 夏祭り （特色のある行事） 陶芸教室 （こども文化センターと合同行事） 2 宮崎台小学校わくわくプラザ 登録者数 397人 延べ利用者数 16,893人 （主な行事等） 映画上映会 1年生歓迎会 （特色のある行事） 科学マジックショー | 行事については、順調に実施されている。利用状況は具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。 |

| 評価項目 | 平成19年度管理運営の状況 | 評価及び指導 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|--|------------|-------|------------|----|-----|------------|--|-----|-----------|--|------|-----------|--|-------|-----------|--|-------------|---------|--|--------------|--------|--|-------------|---------|--|-------------|-----------|--|----|------------|--|----|---------|--|
| (3) 収支状況 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ① 収支状況 | <p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table> <tr> <td>収入</td> <td>指定管理料</td> <td>55,162,882</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>人件費</td> <td>38,716,237</td> </tr> <tr> <td></td> <td>管理費</td> <td>3,328,852</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務経費</td> <td>1,937,847</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他経費</td> <td>1,436,042</td> </tr> <tr> <td></td> <td>青少年事業資産取得支出</td> <td>909,090</td> </tr> <tr> <td></td> <td>減価償却引当資産取得支出</td> <td>40,492</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第1回精算に伴う返納金</td> <td>636,363</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第2回精算に伴う返納金</td> <td>8,000,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>55,004,923</td> </tr> <tr> <td></td> <td>差引</td> <td>157,959</td> </tr> </table> | 収入 | 指定管理料 | 55,162,882 | 支出 | 人件費 | 38,716,237 | | 管理費 | 3,328,852 | | 事務経費 | 1,937,847 | | その他経費 | 1,436,042 | | 青少年事業資産取得支出 | 909,090 | | 減価償却引当資産取得支出 | 40,492 | | 第1回精算に伴う返納金 | 636,363 | | 第2回精算に伴う返納金 | 8,000,000 | | 合計 | 55,004,923 | | 差引 | 157,959 | <p>事業実施後指定管理料の残額を戻入しており指定管理料の範囲内で事業の実施を行っている。今後は収支のバランスを考慮しつつ、事業をより充実させるため適切な経費の執行を図ること。</p> |
| 収入 | 指定管理料 | 55,162,882 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 支出 | 人件費 | 38,716,237 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 管理費 | 3,328,852 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 事務経費 | 1,937,847 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | その他経費 | 1,436,042 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 青少年事業資産取得支出 | 909,090 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 減価償却引当資産取得支出 | 40,492 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 第1回精算に伴う返納金 | 636,363 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 第2回精算に伴う返納金 | 8,000,000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 合計 | 55,004,923 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 差引 | 157,959 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとのこども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。行事の実施についても施設ごとに特色ある行事を実施していることは評価できる。また、各施設を統括する本部職員を配置することにより、他のこども文化センターと連携を図り管理運営を行っていたことは評価できる。

55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、安定した経営を行っていたことは評価できる。

4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと、また目標利用者数を設定する等具体的な数値目標を設定し客観的に事業の達成状況が分かるようにすること。

平成19年度 有馬こども文化センターの管理運営に対する評価について

1 指定管理者

| | |
|-----------|--|
| (1) 指定管理者 | 財団法人かわさき市民活動センター |
| (2) 指定期間 | 平成18年4月1日～平成23年3月31日 |
| (3) 業務の範囲 | 有馬こども文化センターの管理運営に関すること 西有馬小学校・鷺沼小学校・有馬小学校わくわくプラザの管理運営に関すること |

2 管理運営（事業執行）に対する評価

| 評価項目 | 平成19年度管理運営の状況 | 評価及び指導 |
|--------------------------|--|--|
| (1) 管理業務の実施状況 | | |
| 施設の運営に関する職員体制に関すること | ①人的能力の充実を図るため職員の児童厚生員資格取得を進めると共に、新規採用職員は業務に関する資格取得者から選考しました。②本部の職員体制については管理係長1名、区運営担当主査を3名配置して各館との連携強化を図りました。 | 職員の業務に関する資格の取得を進めたこと、また本部職員の充実によりかわさき市民活動センターが管理運営している他のこども文化センターとの連携を図ったことは評価できる。職員の研修については、スケールメリットを生かし、大規模な研修を実施し、また、指定管理施設の各区、施設単位での研修も実施することにより職員のスキルアップを図っていたことは評価できる。今後もこども文化センター及びわくわくプラザの職員配置が適切に行われるよう努めること。 |
| 施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること | こども文化センター・わくわくプラザ3施設に情報収集ボックスの設置をしました。こども文化センターでは、運営協議会利用者メンバーとの会議を通じて、地域住民のニーズの情報収集ができました。わくわくプラザ3施設では利用者への日々の声掛けで関係づくりに努め、保護者懇談会開催時等に活発な意見交換を行いました。わくわくプラザ3施設の学校教職員と担当職員が定期的な情報交換を行いました。 | 継続的に利用者や地域住民からの意見・要望等を聞きニーズの把握に努めていたことは評価できる。提案箱の活用等により積極的にニーズの把握に努めていたことは評価できる。 |
| サービスの提供に関すること | 毎月発行する便りを近隣4小学校へ配布しました。施設内外での広報・ホームページによる情報サービスを行いました。地域各団体等の幅広い世代を対象に、それぞれのニーズに合わせた、物品貸出・貸館・印刷・夜間利用等の提供を行いました。乳幼児優先室（ちびっこルーム）を設置し、乳幼児を連れた利用者が授乳やオムツ替え等ができるよう整備しました。 | 運営協議会やこども会議等を実施しサービスの提供を行っていた。また、ホームページの内容をより充実させていたことは評価できる。障害児については、障害児相談員を雇用し、必要に応じ職員の相談を行い障害児の対応を充実させていたことは評価できる。また、2つのクラブ活動を実施し、事業の充実に努めていた。 |

| | | |
|-------------------|--|---|
| 事業の実施に関する こと | 近隣こども文化センター4館合同野外活動 ディキャンプ（20：00終了）の秋休 み実施に向け、事務局として年度当初か ら各こども文化センター職員と連携し、 会議を進めていきました。定期的な野外 行事の事前研修を行い、慎重に検証を重 ね、準備を行い、実施しました。全国児 童館おりがみ作品展に向けて、こども文 化センターこども会議メンバー（キッズ プランナー）を中心に、キッズプラン ナー会議を開催しながら、制作を進め出 展しました。また、子育て支援として、 幼児優先室（ちびっこルーム）の設置と 環境整備を実施しました。 | 運営協議会との連携により地域の ニーズに合った行事を実施し たことは評価できる。今後は、 把握したニーズを具体的な事業 の実施に繋がる工夫をすること。 今後も、ボランティアの活 用に努めること。 |
| 個人情報取扱に関す ること | 財団法人かわさき市民活動センター個人 情報保護方針に基づき取扱いました。収 集した個人情報は、ファイルに入れて整 理、関係者以外の目に触れないよう注意 し、保管しました。入館表、その他申込 書等の記載に関しては、利用目的を明 示しました。 | 個人情報の取扱については、概 ね問題なく処理されている。 |
| 施設の安全管理に関す ること | 施設内外の不要物品・廃棄物等を処分 し、環境整備を行いました。施設内破損 コンセントを全て交換しました。こども 文化センター・わくわくプラザ3施設の 施設内外の安全点検と清掃を実施しまし た。また、危険と思われる箇所には、注 意を促す説明文を張り紙等で掲示しまし た。外回り外壁フェンスの破損部分の修 繕を実施しました。 | 毎日の清掃や始業時の点検を行 い、安全性に努めている。ま た、鷺沼小学校・有馬小学校・ 西有馬小学校わくわくプラザに センサーライトを設置し、より 安全性を高めていたことは評価 できる。 |
| (2) 利用状況 | | |
| ①こども文化 センター | 延べ利用者数 20,523人 延べ団体利用数 4,626団体 (主な行事等) キッズプランナー スーパードッチボール大会 (特色のある行事) 遠足ザリガニ釣りとログハウス | 地域の状況に合わせた特色ある 行事の実施している。また、地 域との連携を図り行事を実施し ていることは評価できる。行事 の実施に当たっては、具体的な 数値目標等を設定し客観的な達 成状況が分かるように心がける こと。 |
| ②わくわくプラザ | 1 西有馬小学校わくわくプラザ 登録者数 366人 延べ利用者数 12,181人 (主な行事等) 映画会 コマ作り (特色のある行事) ブーメラン作り 2 鷺沼小学校わくわくプラザ 登録者数 380人 延べ利用者数 17,134人 (主な行事等) 駄菓子屋さん 手作りお昼ハヤシライス (特色のある行事) 聴導犬にあおう | 行事については、順調に実施さ れている。利用状況は具体的な 数値目標等を設定し客観的な達 成状況が分かるように心がける こと。 |

| | | |
|--|---|--|
| | 3 有馬小学校わくわくプラザ 登録者数 175人 延べ利用者数 8,852人 (主な行事等) 縄跳び検定 スーパーボールすくい (特色のある行事) 科学マジックショー・工作 | |
|--|---|--|

| 評価項目 | 平成19年度管理運営の状況 | 評価及び指導 |
|----------|--|---|
| (3) 収支状況 | | |
| ① 収支状況 | (単位：円) 収入 指定管理料 52,952,904 支出 人件費 44,049,327 管理費 2,886,552 事務経費 2,583,796 その他経費 1,436,042 青少年事業資産取得支出 909,090 減価償却引当資産取得支出 40,492 第1回精算に伴う返納金 636,363 合計 52,541,662 差引 411,242 | 事業実施後指定管理料の残額を戻入しており指定管理料の範囲内で事業の実施を行っている。今後は収支のバランスを考慮しつつ、事業をより充実させるため適切な経費の執行を図ること。 |

3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとのこども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。行事の実施についても施設ごとに特色ある行事を実施していることは評価できる。また、各施設を統括する本部職員を配置することにより、他のこども文化センターと連携を図り管理運営を行っていたことは評価できる。

55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、安定した経営を行っていたことは評価できる。

4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと、また目標利用者数を設定する等具体的な数値目標を設定し客観的に事業の達成状況が分かるようにすること。

平成19年度 野川こども文化センターの管理運営に対する評価について

1 指定管理者

| | |
|-----------|---|
| (1) 指定管理者 | 財団法人かわさき市民活動センター |
| (2) 指定期間 | 平成18年4月1日～平成23年3月31日 |
| (3) 業務の範囲 | 野川こども文化センターの管理運営に関すること 西野川小学校・南野川小学校・野川小学校わくわくプラザの管理運営に関すること |

2 管理運営（事業執行）に対する評価

| 評価項目 | 平成19年度管理運営の状況 | 評価及び指導 |
|--------------------------|---|--|
| (1) 管理業務の実施状況 | | |
| 施設の運営に関する職員体制に関すること | ①人的能力の充実を図るため職員の児童厚生員資格取得を進めると共に、新規採用職員は業務に関する資格取得者から選考しました。②本部の職員体制については管理係長1名、区運営担当主査を3名配置して各館との連携強化を図りました。 | 職員の業務に関する資格の取得を進めたこと、また本部職員の充実によりかわさき市民活動センターが管理運営している他のこども文化センターとの連携を図ったことは評価できる。職員の研修については、スケールメリットを生かし、大規模な研修を実施し、また、指定管理施設の各区、施設単位での研修も実施することにより職員のスキルアップを図っていたことは評価できる。今後もこども文化センター及びわくわくプラザの職員配置が適切に行われるよう努めること。 |
| 施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること | 昨年度に引き続き、今年度も利用者とのコミュニケーションを基本とし、こども会議・運営協議会等を利用し、利用者のニーズの把握に努めました。リクエストポストを設置し、児童の要望に添ったこども文化センター行事の企画・実施の実現に努めました。わくわくプラザにおいては、様々な工夫をして、こども会議と保護者懇談会の出席者の増員を目指しました。 | 継続的に利用者や地域住民からの意見・要望等を聞きニーズの把握に努めていたことは評価できる。意見箱の活用により積極的にニーズの把握に努めていたことは評価できる。 |
| サービスの提供に関すること | 昨年度に引き続き、「笑顔で親切な対応を」をモットーに、利用者へのより充実したサービスの提供に努めました。また、職員の安定した対応につながる「明るい職場作り」を常日頃から心掛けました。ホームページを充実させ、利用者への情報サービスに努めました。 | 運営協議会やこども会議等を実施しサービスの提供を行っていた。また、ホームページの内容をより充実させていたことは評価できる。こども文化センターでは幼児ルームの常時開設、公園利用者への遊具貸し出し等を行い利用者へのサービスを提供したことは評価できる。 |
| 事業の実施に関すること | 今年度は利用人数の増員を目指して様々な取組を行い、幅広い年齢層に適応するように工夫しました。おやつ作り・工作・スポーツ大会・ミニミニ夏祭り・映画会・人形劇等の行事を企画・実施し、より多くの集客を目指しました。 | 運営協議会との連携により地域のニーズに合った行事を実施したことは評価できる。今後は、把握したニーズを具体的な事業の実施に繋がる工夫をすること。今後も、ボランティアの活用に努めること。 |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| <p>個人情報の取扱いに関すること</p> | <p>個人情報の取扱いには、十分な注意が必要であるとの認識を、各職員に確認しました。こども文化センター業務遂行において、個人情報の収集がある機会には必ず確認をして、慎重な取扱いをするように指導しました。昨年同様、記名や住所電話番号が必要な書類等には、他に流用しないことの但し書きを付け加えました。</p> | <p>個人情報の取扱いについては、概ね問題なく処理されている。</p> |
| <p>施設の安全管理に関すること</p> | <p>施設内の安全点検を毎日実施し、利用者の安全を確保する取組を行いました。施設外のプレイパークの整備については、利用団体等の協力を得ながら、1年を通して改善に努めました。防犯対策や災害時の対応などについては、適時研修を行い、各職員の認識の統一を図りました。老人いこいの家と合同で、火災発生を想定した避難訓練を実施しました。</p> | <p>毎日の清掃や始業時の点検を行い、安全性に努めている。また、野川小学校・南野川小学校わくわくプラザにセンサーライトを設置し、より安全性を高めていたことは評価できる。</p> |
| <p>(2) 利用状況</p> | | |
| <p>① こども文化センター</p> | <p>延べ利用者数 45,651人 延べ団体利用数 14,735団体 (主な行事等) 七つのまつがいさがし ミニミニ夏祭り (こども文化センター・わくわくプラザ合同行事) (特色のある行事) フラダンス教室</p> | <p>地域の状況に合わせた特色ある行事の実施している。また、地域との連携を図り行事を実施していることは評価できる。行事の実施に当たっては、具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。</p> |
| <p>② わくわくプラザ</p> | <p>1 西野川小学校わくわくプラザ 登録者数 201人 延べ利用者数 7,401人 (主な行事等) けん玉認定会 ミニミニ夏祭り (こども文化センター・わくわくプラザ合同行事) (特色のある行事) 伝統文化マナー教室</p> <p>2 南野川小学校わくわくプラザ 登録者数 230人 延べ利用者数 10,019人 (主な行事等) オリジナルおやつ 七夕飾りづくり (特色のある行事) 民族芸能鑑賞</p> <p>3 野川小学校わくわくプラザ 登録者数 303人 延べ利用者数 14,045人 (主な行事等) よみきかせ 大太鼓演奏鑑賞・ドッジボール大会 (特色のある行事) 夏休みクイズラリー</p> | <p>行事については、順調に実施されている。利用状況は具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。</p> |

| 評価項目 | 平成19年度管理運営の状況 | 評価及び指導 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|--|------------|--|--------|----|-------|------------|----|-----|------------|--|-----|-----------|--|------|-----------|--|-------|-----------|--|-------------|---------|--|--------------|--------|--|-------------|---------|--|----|------------|----|--|-----------|---|
| (3) 収支状況 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ① 収支状況 | <table border="0"> <tr> <td colspan="2"></td> <td>(単位：円)</td> </tr> <tr> <td>収入</td> <td>指定管理料</td> <td>57,874,386</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>人件費</td> <td>50,151,282</td> </tr> <tr> <td></td> <td>管理費</td> <td>3,021,236</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務経費</td> <td>2,583,796</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他経費</td> <td>1,436,042</td> </tr> <tr> <td></td> <td>青少年事業資産取得支出</td> <td>909,090</td> </tr> <tr> <td></td> <td>減価償却引当資産取得支出</td> <td>40,492</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第1回精算に伴う返納金</td> <td>636,363</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>58,778,301</td> </tr> <tr> <td>差引</td> <td></td> <td>▲ 903,915</td> </tr> </table> | | | (単位：円) | 収入 | 指定管理料 | 57,874,386 | 支出 | 人件費 | 50,151,282 | | 管理費 | 3,021,236 | | 事務経費 | 2,583,796 | | その他経費 | 1,436,042 | | 青少年事業資産取得支出 | 909,090 | | 減価償却引当資産取得支出 | 40,492 | | 第1回精算に伴う返納金 | 636,363 | | 合計 | 58,778,301 | 差引 | | ▲ 903,915 | <p>単館では支出が上回ったが、55館全体での指定管理料内で事業の実施を行っている。今後は収支のバランスを考慮しつつ、事業をより充実させるため適切な経費の執行を図ること。</p> |
| | | (単位：円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 収入 | 指定管理料 | 57,874,386 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 支出 | 人件費 | 50,151,282 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 管理費 | 3,021,236 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 事務経費 | 2,583,796 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | その他経費 | 1,436,042 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 青少年事業資産取得支出 | 909,090 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 減価償却引当資産取得支出 | 40,492 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 第1回精算に伴う返納金 | 636,363 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 合計 | 58,778,301 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 差引 | | ▲ 903,915 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとのこども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。行事の実施についても施設ごとに特色ある行事を実施していることは評価できる。また、各施設を統括する本部職員を配置することにより、他のこども文化センターと連携を図り管理運営を行っていたことは評価できる。

55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、安定した経営を行っていたことは評価できる。

4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと、また目標利用者数を設定する等具体的な数値目標を設定し客観的に事業の達成状況が分かるようにすること。

平成19年度 宮前平こども文化センターの管理運営に対する評価について

1 指定管理者

| | |
|-----------|---|
| (1) 指定管理者 | 財団法人かわさき市民活動センター |
| (2) 指定期間 | 平成18年4月1日～平成23年3月31日 |
| (3) 業務の範囲 | 宮前平こども文化センターの管理運営に関すること 富士見台小学校・宮前平小学校・土橋小学校わくわくプラザの管理運営に関すること |

2 管理運営（事業執行）に対する評価

| 評価項目 | 平成19年度管理運営の状況 | 評価及び指導 |
|--------------------------|--|--|
| (1) 管理業務の実施状況 | | |
| 施設の運営に関する職員体制に関すること | ①人的能力の充実を図るため職員の児童厚生員資格取得を進めると共に、新規採用職員は業務に関する資格取得者から選考しました。②本部の職員体制については管理係長1名、区運営担当主査を3名配置して各館との連携強化を図りました。 | 職員の業務に関する資格の取得を進めたこと、また本部職員の充実によりかわさき市民活動センターが管理運営している他のこども文化センターとの連携を図ったことは評価できる。職員の研修については、スケールメリットを生かし、大規模な研修を実施し、また、指定管理施設の各区、施設単位での研修も実施することにより職員のスキルアップを図っていたことは評価できる。今後もこども文化センター及びわくわくプラザの職員配置が適切に行われるよう努めること。 |
| 施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること | こども文化センターでは、運営協議会や集会所利用調整会議、こども会議等で地域の方々から広くご意見をいただくと共に、利用児童からも行事の内容や館の使い方等の意見を聞いて、ニーズの把握に努めている。わくわくプラザにおいては、こども会議や保護者懇談会を開催してニーズを把握し、児童の自主性を重んじた運営や行事の企画に役立てた。また、アンケート箱を設置して幅広く利用者へ意見を求めた。 | 継続的に利用者や地域住民からの意見・要望等を聞きニーズの把握に努めていたことは評価できる。提案箱の活用等により積極的にニーズの把握に努めていたことは評価できる。 |
| サービスの提供に関すること | 貸館や物品借用の利用が多く、弾力的なサービスの充実に努めた。館内の整理整頓に努め、利用者と共に網戸の張替えやペンキ塗り等の環境整備にあたった。玩具を新規に購入したり、英語の児童書を揃える等のサービスを提供した。わくわくプラザでは工作、おやつ作り、遠足、サッカー教室、科学館見学、化学実験、交通安全教室、介助犬、紙芝居、スポーツ大会と幅広く行った。ぬりえ大会及びおぼけ大会等は児童と共に企画運営した。わくわくプラザの遊具や図書の実装を図った。館内、プラザ内の展示等の飾りつけに児童と共に取り組んだ。 | 運営協議会やこども会議等を実施しサービスの提供を行っていた。また、ホームページの内容をより充実させていたことは評価できる。障害児については、障害児相談員を雇用し、必要に応じ職員の相談を行い障害児の対応を充実させていたことは評価できる。また、2つのクラブ活動を実施し、事業の充実に努めていた。 |

| | | |
|-------------------|--|---|
| 事業の実施に関する こと | 館内行事（一輪車の日、ミニホッケーの日、工作、手作りおやつ、だがしやさん、映画会等）を定期的で開催した。本年度から幼児向け行事も定期的で開催し、親子で参加し交流できる場を設けた。館主催のスポーツクラブ、囲碁クラブを引き続き行った。地域の市民活動団体と協働で地域交流事業（ふれあいまつり）を開催し、こども文化センターの活動紹介等の広報と地域理解に努めた。また、近隣のこども文化センターと協力して野外活動を行い、地域児童の交流と健全育成に努めた。障がい児対応については、わくわくプラザ障がい児巡回相談員を活用して職員のスキルアップを図った。 | 運営協議会との連携により地域のニーズに合った行事を実施したことは評価できる。今後は、把握したニーズを具体的な事業の実施に繋がる工夫をすること。今後も、ボランティアの活用に努めること。 |
| 個人情報取扱に関する こと | 財団法人かわさき市民活動センター個人情報保護方針に基づいて取り扱っている。個人を特定できる個人情報や書類等については、指定された場所に保管し、安易に閲覧できないよう、管理や取扱いを厳密に行った。 | 個人情報の取扱については、概ね問題なく処理されている。 |
| 施設の安全管理に関する こと | 衛生管理研修を職員全員を対象に行い、おやつや手作り行事等の業務に活かした。こども文化センター・わくわくプラザともに日常的に清掃を行い、衛生環境を整え、遊具・設備の安全点検に努めた。また、毎年こども文化センターとわくわくプラザで避難訓練を行い、施設状況の見直し、安全確保の再検討・確認を行った。 | 毎日の清掃や始業時の点検を行い、安全性に努めている。また、富士見台小学校・宮前平小学校わくわくプラザにセンサーライトを設置し、より安全性を高めていたことは評価できる。 |
| (2) 利用状況 | | |
| ①こども文化センター | 延べ利用者数 29,835人 延べ団体利用数 10,622団体 （主な行事等） こどもまつり （特色のある行事） お芝居 | 地域の状況に合わせた特色ある行事の実施している。また、地域との連携を図り行事を実施していることは評価できる。行事の実施に当たっては、具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。 |
| ②わくわくプラザ | 1 富士見台小学校わくわくプラザ 登録者数 449人 延べ利用者数 15,711人 （主な行事等） スポーツ大会 おばけ屋敷 （特色のある行事） 盲導犬と触れ合おう 2 宮前平小学校わくわくプラザ 登録者数 287人 延べ利用者数 11,715人 （主な行事等） 駄菓子屋さん ダンボール基地作り （特色のある行事） 仮装大会 | 行事については、順調に実施されている。利用状況は具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。 |

| | | |
|--|--|--|
| | 3 土橋小学校わくわくプラザ 登録者数 579人 延べ利用者数 19,719人 (主な行事等) 駄菓子屋さん めりえ大会 水遊び (特色のある行事) 牛乳パックフリスビー作り | |
|--|--|--|

| 評価項目 | 平成19年度管理運営の状況 | 評価及び指導 |
|----------|---|---|
| (3) 収支状況 | | |
| ① 収支状況 | (単位：円) 収入 指定管理料 67,148,300 支出 人件費 53,364,264 管理費 2,930,544 事務経費 2,583,796 その他経費 1,436,042 青少年事業資産取得支出 909,090 減価償却引当資産取得支出 40,492 第1回精算に伴う返納金 636,363 第2回精算に伴う返納金 5,000,000 合計 66,900,591 差引 247,709 | 事業実施後指定管理料の残額を戻入しており指定管理料の範囲内で事業の実施を行っている。今後は収支のバランスを考慮しつつ、事業をより充実させるため適切な経費の執行を図ること。 |

3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとのこども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。行事の実施についても施設ごとに特色ある行事を実施していることは評価できる。また、各施設を統括する本部職員を配置することにより、他のこども文化センターと連携を図り管理運営を行っていたことは評価できる。

55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、安定した経営を行っていたことは評価できる。

4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと、また目標利用者数を設定する等具体的な数値目標を設定し客観的に事業の達成状況が分かるようにすること。

平成19年度 平こども文化センターの管理運営に対する評価について

1 指定管理者

| | |
|-----------|--|
| (1) 指定管理者 | 財団法人かわさき市民活動センター |
| (2) 指定期間 | 平成18年4月1日～平成23年3月31日 |
| (3) 業務の範囲 | 平こども文化センターの管理運営に関すること 向丘小学校・長尾小学校わくわくプラザの管理運営に関すること |

2 管理運営（事業執行）に対する評価

| 評価項目 | 平成19年度管理運営の状況 | 評価及び指導 |
|--------------------------|--|--|
| (1) 管理業務の実施状況 | | |
| 施設の運営に関する職員体制に関すること | ①人的能力の充実を図るため職員の児童厚生員資格取得を進めると共に、新規採用職員は業務に関する資格取得者から選考しました。②本部の職員体制については管理係長1名、区運営担当主査を3名配置して各館との連携強化を図りました。 | 職員の業務に関する資格の取得を進めたこと、また本部職員の充実によりかわさき市民活動センターが管理運営している他のこども文化センターとの連携を図ったことは評価できる。職員の研修については、スケールメリットを生かし、大規模な研修を実施し、また、指定管理施設の各区、施設単位での研修も実施することにより職員のスキルアップを図っていたことは評価できる。今後もこども文化センター及びわくわくプラザの職員配置が適切に行われるよう努めること。 |
| 施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること | 運営協議会を8回、利用者懇談会を3回、こども会議をほぼ毎月開催した。利用者の声を聴くためのリクエストBOXの設置をしました。折に触れ、来館者の生の声を聴くことにも努めました。また、わくわくプラザでは、保護者懇談会を向丘小・長尾小共に3回ずつ開催しました。 | 継続的に利用者や地域住民からの意見・要望等を聞きニーズの把握に努めていたことは評価できる。リクエストBOXの活用等により積極的にニーズの把握に努めていたことは評価できる。 |
| サービスの提供に関すること | 運営協議会・地域住民と協働で開催した「こ文まつり」など、地域児童だけではなく親子、家族が参加できる行事を企画した。「こども文化センターだより」を学校、町会や自治会を通して配布し、活動内容や状況の広報を行った。また、利用者の要望に応えるため、遊戯室に引戸を入れ、集会室には引戸のガラスを入れ、また幼児ルームを整備するなどサービス向上に努めた。 | 運営協議会やこども会議等を実施しサービスの提供を行っていた。また、ホームページの内容をより充実させていたことは評価できる。障害児については、障害児相談員を雇用し、必要に応じ職員の相談を行い障害児の対応を充実させていたことは評価できる。また、2つのクラブ活動を実施し、事業の充実に努めていた。 |

| | | |
|-------------------|---|---|
| 事業の実施に関する こと | 「手作りおやつ又は工作」を平成19年度後半から毎月開催した。「だがしやさん」「映画会」の隔月開催、季節に合わせた「お茶会」「おはなし会」、中学生企画運営による「スリッパ卓球大会」を実施した。運営協議会主催による「こ文まつり（なつ・ふゆ）」・「流しそうめん」・「音楽会」も開催した。ボランティア講師に依頼し、児童卓球クラブを月2回、幼児向けに親子リトミックを月1回開催した。 | 運営協議会との連携により地域のニーズに合った行事を実施したことは評価できる。今後は、把握したニーズを具体的な事業の実施に繋がる工夫をすること。今後も、ボランティアの活用に努めること。 |
| 個人情報取扱に関する こと | 入館状況調査表は業務日誌と一緒にファイルし、ロッカーに鍵をかけ保管している。また、パソコンのフロッピーディスクはロッカーに鍵をかけ、館長が保管している。 | 個人情報の取扱については、概ね問題なく処理されている。 |
| 施設の安全管理に関する こと | 館内の整理整頓に重きをおき、各部屋の安全点検・整理整頓をはじめ、遊具の安全点検、施設内外の安全点検も毎日実施してきた。非常の際の避難や老人いこいの家・保育園との連携についても、年数回確認した。 | 毎日の清掃や始業時の点検を行い、安全性に努めている。 |
| (2) 利用状況 | | |
| ①こども文化センター | 延べ利用者数 18,250人 延べ団体利用数 3,024団体 (主な行事等) だがしやさん なつまつり (特色のある行事) 灯籠作り | 地域の状況に合わせた特色ある行事の実施している。また、地域との連携を図り行事を実施していることは評価できる。行事の実施に当たっては、具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。 |
| ②わくわくプラザ | 1 向丘小学校わくわくプラザ 登録者数 215人 延べ利用者数 17,519人 (主な行事等) だがしやさん わくわくまつり (特色のある行事) ミニ水族館 2 長尾小学校わくわくプラザ 登録者数 162人 延べ利用者数 7,095人 (主な行事等) 将棋教室 工作週間 (特色のある行事) マネーゲーム | 行事については、順調に実施されている。利用状況は具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。 |

| 評価項目 | 平成19年度管理運営の状況 | 評価及び指導 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|---|------------|-------|------------|----|-----|------------|--|-----|-----------|--|------|-----------|--|-------|-----------|--|-------------|---------|--|--------------|--------|--|-------------|---------|--|----|------------|--|----|-----------|---|
| (3) 収支状況 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ① 収支状況 | <p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table> <tr> <td>収入</td> <td>指定管理料</td> <td>47,292,914</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>人件費</td> <td>37,797,063</td> </tr> <tr> <td></td> <td>管理費</td> <td>2,469,829</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務経費</td> <td>1,937,847</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他経費</td> <td>1,436,042</td> </tr> <tr> <td></td> <td>青少年事業資産取得支出</td> <td>909,090</td> </tr> <tr> <td></td> <td>減価償却引当資産取得支出</td> <td>40,492</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第1回精算に伴う返納金</td> <td>636,363</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>45,226,726</td> </tr> <tr> <td></td> <td>差引</td> <td>2,066,188</td> </tr> </table> | 収入 | 指定管理料 | 47,292,914 | 支出 | 人件費 | 37,797,063 | | 管理費 | 2,469,829 | | 事務経費 | 1,937,847 | | その他経費 | 1,436,042 | | 青少年事業資産取得支出 | 909,090 | | 減価償却引当資産取得支出 | 40,492 | | 第1回精算に伴う返納金 | 636,363 | | 合計 | 45,226,726 | | 差引 | 2,066,188 | 事業実施後指定管理料の残額を戻入しており指定管理料の範囲内で事業の実施を行っている。今後は収支のバランスを考慮しつつ、事業をより充実させるため適切な経費の執行を図ること。 |
| 収入 | 指定管理料 | 47,292,914 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 支出 | 人件費 | 37,797,063 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 管理費 | 2,469,829 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 事務経費 | 1,937,847 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | その他経費 | 1,436,042 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 青少年事業資産取得支出 | 909,090 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 減価償却引当資産取得支出 | 40,492 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 第1回精算に伴う返納金 | 636,363 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 合計 | 45,226,726 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 差引 | 2,066,188 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとのこども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。行事の実施についても施設ごとに特色ある行事を実施していることは評価できる。また、各施設を統括する本部職員を配置することにより、他のこども文化センターと連携を図り管理運営を行っていたことは評価できる。

55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、安定した経営を行っていたことは評価できる。

4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと、また目標利用者数を設定する等具体的な数値目標を設定し客観的に事業の達成状況が分かるようにすること。

平成19年度 白幡台こども文化センターの管理運営に対する評価について

1 指定管理者

| | |
|-----------|--|
| (1) 指定管理者 | 財団法人かわさき市民活動センター |
| (2) 指定期間 | 平成18年4月1日～平成23年3月31日 |
| (3) 業務の範囲 | 白幡台こども文化センターの管理運営に関すること 白幡台小学校・平小学校わくわくプラザの管理運営に関すること |

2 管理運営（事業執行）に対する評価

| 評価項目 | 平成19年度管理運営の状況 | 評価及び指導 |
|--------------------------|--|--|
| (1) 管理業務の実施状況 | | |
| 施設の運営に関する職員体制に関すること | ①人的能力の充実を図るため職員の児童厚生員資格取得を進めると共に、新規採用職員は業務に関する資格取得者から選考しました。②本部の職員体制については管理係長1名、区運営担当主査を3名配置して各館との連携強化を図りました。 | 職員の業務に関する資格の取得を進めたこと、また本部職員の充実によりかわさき市民活動センターが管理運営している他のこども文化センターとの連携を図ったことは評価できる。職員の研修については、スケールメリットを生かし、大規模な研修を実施し、また、指定管理施設の各区、施設単位での研修も実施することにより職員のスキルアップを図っていたことは評価できる。今後もこども文化センター及びわくわくプラザの職員配置が適切に行われるよう努めること。 |
| 施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること | 保護者及び児童、地域利用者のニーズを把握するため、こども文化センター及び各わくわくプラザに意見箱を設置し、意見内容については、随時検討している。また、保護者懇談会等ではアンケート調査を実施した。運営協議会や子ども会議も定期的に開催し、各委員を中心とした行事の企画運営を行った。 | 継続的に利用者や地域住民からの意見・要望等を聞きニーズの把握に努めていたことは評価できる。意見箱の活用等により積極的にニーズの把握に努めていたことは評価できる。 |
| サービスの提供に関すること | より多くの子ども達が気軽に参加できるような行事を企画する中で、開催日時や内容に配慮し、実施した。また、スタッフの日常の清掃と整理整頓によって、明るく清潔な環境を確保した。旧図書室を幼児ルームとして整備し、利用者のニーズに答えた。 | 運営協議会や子ども会議等を実施しサービスの提供を行っていた。また、ホームページの内容をより充実させていたことは評価できる。障害児については、障害児相談員を雇用し、必要に応じ職員の相談を行い障害児の対応を充実させていたことは評価できる。また、2つのクラブ活動を実施し、事業の充実に努めていた。 |

| | | |
|-------------------|---|---|
| 事業の実施に関する こと | 健全育成事業として、今年度は中高生の居場所作りに力を入れ、参加しやすい中高生向けの行事の企画や中学生版おたよりを定期的に作成し、近隣の中学校に配布した。運営協議会の協力を得ながら、中学生対象の工作や、ミニシアターの幼児ルームを開室したため、親子が気軽に来館できるような環境作りを行った。さらに事業計画に基づき「しらこフェスタ」を地域と連携して行い、260人の参加を得た。また、中学2年生の数十人を中心に、壁紙の張替えなどのボランティア活動を実施した。 | 運営協議会との連携により地域のニーズに合った行事を実施したことは評価できる。今後は、把握したニーズを具体的な事業の実施に繋がる工夫をすること。今後も、ボランティアの活用に努めること。 |
| 個人情報取扱に関する こと | 財団法人かわさき市民活動センター個人情報保護方針に基づき取り扱った。こども文化センター入館表や、わくわくプラザ申込書などはファイルに閉じ、鍵のかかる棚での保管をしている。事務用パソコンに関してはパスワードをかけ、外部の人は開けられないようにしている。 | 個人情報の取扱については、概ね問題なく処理されている。 |
| 施設の安全管理に関する こと | 夏休み前に全職員が普通救命士の講習を受講し、事故に対する意識を高めた。さらに各プラザごとに防犯研修を受け、現場に応じた対策や対処を学んだ。火災時などの避難訓練を行い、避難誘導や避難確認等の訓練を実施した。また、毎日の開館作業時の準備において、清掃しながら危険箇所等の点検を実施した。 | 毎日の清掃や始業時の点検を行い、安全性に努めている。また、白幡台小学校わくわくプラザにセンサーライトを設置し、より安全性を高めていたことは評価できる。 |
| (2) 利用状況 | | |
| ①こども文化センター | 延べ利用者数 20,718人 延べ団体利用数 5,839団体 (主な行事等) シネマとだがし しらこフェスタ2007 (特色のある行事) 中高生向け映画会 | 地域の状況に合わせた特色ある行事の実施している。また、地域との連携を図り行事を実施していることは評価できる。行事の実施に当たっては、具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。 |
| ②わくわくプラザ | 1 白幡台小学校わくわくプラザ 登録者数 175人 延べ利用者数 10,226人 (主な行事等) だがしやさん 七夕飾り作り (特色のある行事) バーベキュー・お化け屋敷 2 平小学校わくわくプラザ 登録者数 229人 延べ利用者数 11,679人 (主な行事等) ドッジボール お楽しみ会 (特色のある行事) 南京玉簾ショー | 行事については、順調に実施されている。利用状況は具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。 |

| 評価項目 | 平成19年度管理運営の状況 | 評価及び指導 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|---|------------|-------|------------|----|-----|------------|--|-----|-----------|--|------|-----------|--|-------|-----------|--|-------------|---------|--|--------------|--------|--|-------------|---------|--|----|------------|--|----|-----------|---|
| (3) 収支状況 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ① 収支状況 | <p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table> <tr> <td>収入</td> <td>指定管理料</td> <td>46,508,700</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>人件費</td> <td>39,161,919</td> </tr> <tr> <td></td> <td>管理費</td> <td>3,109,659</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務経費</td> <td>1,937,847</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他経費</td> <td>1,436,042</td> </tr> <tr> <td></td> <td>青少年事業資産取得支出</td> <td>909,090</td> </tr> <tr> <td></td> <td>減価償却引当資産取得支出</td> <td>40,492</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第1回精算に伴う返納金</td> <td>636,363</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>47,231,412</td> </tr> <tr> <td></td> <td>差引</td> <td>▲ 722,712</td> </tr> </table> | 収入 | 指定管理料 | 46,508,700 | 支出 | 人件費 | 39,161,919 | | 管理費 | 3,109,659 | | 事務経費 | 1,937,847 | | その他経費 | 1,436,042 | | 青少年事業資産取得支出 | 909,090 | | 減価償却引当資産取得支出 | 40,492 | | 第1回精算に伴う返納金 | 636,363 | | 合計 | 47,231,412 | | 差引 | ▲ 722,712 | <p>単館では支出が上回ったが、55館全体での指定管理料内で事業の実施を行っている。今後は収支のバランスを考慮しつつ、事業をより充実させるため適切な経費の執行を図ること。</p> |
| 収入 | 指定管理料 | 46,508,700 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 支出 | 人件費 | 39,161,919 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 管理費 | 3,109,659 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 事務経費 | 1,937,847 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | その他経費 | 1,436,042 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 青少年事業資産取得支出 | 909,090 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 減価償却引当資産取得支出 | 40,492 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 第1回精算に伴う返納金 | 636,363 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 合計 | 47,231,412 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 差引 | ▲ 722,712 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとのこども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。行事の実施についても施設ごとに特色ある行事を実施していることは評価できる。また、各施設を統括する本部職員を配置することにより、他のこども文化センターと連携を図り管理運営を行っていたことは評価できる。

55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、安定した経営を行っていたことは評価できる。

4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと、また目標利用者数を設定する等具体的な数値目標を設定し客観的に事業の達成状況が分かるようにすること。

平成19年度 蔵敷こども文化センターの管理運営に対する評価について

1 指定管理者

| | |
|-----------|---|
| (1) 指定管理者 | 財団法人かわさき市民活動センター |
| (2) 指定期間 | 平成18年4月1日～平成23年3月31日 |
| (3) 業務の範囲 | 蔵敷こども文化センターの管理運営に関すること 菅生小学校・犬蔵小学校わくわくプラザの管理運営に関すること |

2 管理運営（事業執行）に対する評価

| 評価項目 | 平成19年度管理運営の状況 | 評価及び指導 |
|--------------------------|--|--|
| (1) 管理業務の実施状況 | | |
| 施設の運営に関する職員体制に関すること | ①人的能力の充実を図るため職員の児童厚生員資格取得を進めると共に、新規採用職員は業務に関する資格取得者から選考しました。②本部の職員体制については管理係長1名、区運営担当主査を3名配置して各館との連携強化を図りました。 | 職員の業務に関する資格の取得を進めたこと、また本部職員の充実によりかわさき市民活動センターが管理運営している他のこども文化センターとの連携を図ったことは評価できる。職員の研修については、スケールメリットを生かし、大規模な研修を実施し、また、指定管理施設の各区、施設単位での研修も実施することにより職員のスキルアップを図っていたことは評価できる。今後もこども文化センター及びわくわくプラザの職員配置が適切に行われるよう努めること。 |
| 施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること | 運営協議会、こども運営会議、地域教育会議及び地域教育学習委員会において、地域や利用者のニーズの把握及び情報収集を行ってきた。職員は来館者へ声掛けをし、ご意見を伺う姿勢で臨んできた。行事实施後にはアンケートにより参加者の意見やニーズを把握している。また、自由に記載していただけるように意見箱を設置した。 | 継続的に利用者や地域住民からの意見・要望等を聞きニーズの把握に努めていたことは評価できる。意見箱の活用等により積極的にニーズの把握に努めていたことは評価できる。 |
| サービスの提供に関すること | 貸館、物品借用には積極的に対応し、利用しやすい環境整備、接遇を実施してきた。図書ボランティアによる図書の貸出しや読書の啓蒙活動を行い、図書の紹介、貸出し受付窓口として協働したサービスを推進してきた。市民用パソコンや印刷機の利用促進と接遇を実施した。ボランティア活動団体（らくがき戦隊ケースンジャー）の連絡先になり、会議開催等の活動支援を行った。 | 運営協議会やこども会議等を実施しサービスの提供を行っていた。また、ホームページの内容をより充実させていたことは評価できる。障害児については、障害児相談員を雇用し、必要に応じ職員の相談を行い障害児の対応を充実させていたことは評価できる。また、2つのクラブ活動を実施し、事業の充実に努めていた。 |

| | | |
|--------------------|---|---|
| 事業の実施に関する こと | 運営協議会やこども運営会議での意見をもとに地域の施設として機能する事業を展開してきた。子育て事業の取組のPRにより、地域の理解と支援を受け幼児コーナーを開設し、好評であった。庭に季節の花、野菜を植え自然とのふれあい事業も実施した。世代を超えて地域の交流、ふれあいの場として機能するよう、実施内容、職員のかかわりを工夫してきた。 | 運営協議会との連携により地域のニーズに合った行事を実施したことは評価できる。今後は、把握したニーズを具体的な事業の実施に繋がる工夫をすること。今後も、ボランティアの活用に努めること。 |
| 個人情報の取扱いに関する こと | 個人情報の管理、取扱いは個人情報保護法に基づき実施した。個人を特定できる書類等については指定された場所、施錠機での管理保管としている。閲覧は必要最小限の職員に限定しての取扱いとしている。個人情報に関わる廃棄書類は、シュレダーでの処分を実施している。 | 個人情報の取扱いについては、概ね問題なく処理されている。 |
| 施設の安全管理に関する こと | 利用者の安全確保を最優先課題とし、常時施設内の安全点検、衛生管理、利用状況を把握し、健全育成と安全管理に努めた。利用者と共に「不審者進入防止教室」や定期的な防災訓練も実施した。児童の施設や遊具の利用状況に問題を感じたときは、安全な遊び方の指導を繰り返し行ってきた。館内や遊具には、施設の安全な利用についての掲示を行っている。 | 毎日の清掃や始業時の点検を行い、安全性に努めている。 |
| (2) 利用状況 | | |
| ①こども文化センター | 延べ利用者数 21,656人 延べ団体利用数 3,658団体 (主な行事等) 本の読み聞かせ 駄菓子屋さん 夏祭り (特色のある行事) 理科教室 金魚で遊ぼう | 地域の状況に合わせた特色ある行事の実施している。また、地域との連携を図り行事を実施していることは評価できる。行事の実施に当たっては、具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。 |
| ②わくわくプラザ | 1 菅生小学校わくわくプラザ 登録者数 238人 延べ利用者数 14,973人 (主な行事等) オリジナルおやつ プラバン工作 (特色のある行事) 壁掛けポシエット作り 2 犬蔵小学校わくわくプラザ 登録者数 288人 延べ利用者数 11,079人 (主な行事等) みんなであそぼう けんだま (特色のある行事) | 行事については、順調に実施されている。利用状況は具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。 |

| 評価項目 | 平成19年度管理運営の状況 | 評価及び指導 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|---|------------|-------|------------|----|-----|------------|--|-----|-----------|--|------|-----------|--|-------|-----------|--|-------------|---------|--|--------------|--------|--|-------------|---------|--|-------------|-----------|--|----|------------|--|----|--------|--|
| (3) 収支状況 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ① 収支状況 | <p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table> <tr> <td>収入</td> <td>指定管理料</td> <td>50,221,021</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>人件費</td> <td>39,551,762</td> </tr> <tr> <td></td> <td>管理費</td> <td>2,690,401</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務経費</td> <td>1,937,847</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他経費</td> <td>1,436,042</td> </tr> <tr> <td></td> <td>青少年事業資産取得支出</td> <td>909,090</td> </tr> <tr> <td></td> <td>減価償却引当資産取得支出</td> <td>40,492</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第1回精算に伴う返納金</td> <td>636,363</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第2回精算に伴う返納金</td> <td>3,000,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>50,201,997</td> </tr> <tr> <td></td> <td>差引</td> <td>19,024</td> </tr> </table> | 収入 | 指定管理料 | 50,221,021 | 支出 | 人件費 | 39,551,762 | | 管理費 | 2,690,401 | | 事務経費 | 1,937,847 | | その他経費 | 1,436,042 | | 青少年事業資産取得支出 | 909,090 | | 減価償却引当資産取得支出 | 40,492 | | 第1回精算に伴う返納金 | 636,363 | | 第2回精算に伴う返納金 | 3,000,000 | | 合計 | 50,201,997 | | 差引 | 19,024 | <p>事業実施後指定管理料の残額を戻入しており指定管理料の範囲内で事業の実施を行っている。今後は収支のバランスを考慮しつつ、事業をより充実させるため適切な経費の執行を図ること。</p> |
| 収入 | 指定管理料 | 50,221,021 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 支出 | 人件費 | 39,551,762 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 管理費 | 2,690,401 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 事務経費 | 1,937,847 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | その他経費 | 1,436,042 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 青少年事業資産取得支出 | 909,090 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 減価償却引当資産取得支出 | 40,492 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 第1回精算に伴う返納金 | 636,363 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 第2回精算に伴う返納金 | 3,000,000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 合計 | 50,201,997 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 差引 | 19,024 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとのこども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。行事の実施についても施設ごとに特色ある行事を実施していることは評価できる。また、各施設を統括する本部職員を配置することにより、他のこども文化センターと連携を図り管理運営を行っていたことは評価できる。

55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、安定した経営を行っていたことは評価できる。

4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと、また目標利用者数を設定する等具体的な数値目標を設定し客観的に事業の達成状況が分かるようにすること。